# 学びの軌跡

～挑戦と成長～

～認めあう学年～

学年通信　第３１号
令和５年１０月１７日
発行者：春名　将之

## 弁論大会📖合唱コンクール♪体育館に響いた2年生らしい歌声♫

１０月７日（土）、星輝祭文化の部が開催されました。吹奏楽部による演奏。有志によるダンスパフォーマンス。各学年代表による弁論大会。クラス対抗で行われた合唱コンクール。

弁論大会では、２年生の代表として半田梨桜さんと三宅ららさんが弁論に臨みました。代表者に選出されてからは、内容の修正や読み方の練習など、放課後や家庭での時間を使って準備を重ねてくれました。当日は堂々とした態度で、自分の想いを語ってくれました。「言葉の先入観にとらわれず、本質を見抜く力が大切」「地域の行事から感じたこと・そしてそれを継承していくことが大切」どちらも、大変すばらしい論旨でした。二人の弁論から感じたこと・学んだことをこれからの生活に取り入れていきたいですね。

弁論の後は、合唱コンクール。自由曲決めの段階から、２年生らしい曲はなんだろうか。３年生と勝負できる曲はなんだろうかと考え、「ＨＥＩＷＡの鐘」を歌うことになりました。初めは、全くリズムが取れず、音も取れずという状況から、脅威の成長を見せて、素晴らしい歌声を披露することができました。残念ながら、最優秀賞や優秀賞を取ることはできなかったですが、成長した量はきっと１位だったと思います。また、皆の合唱を指揮した植田蒼くんが最優秀指揮者賞を獲得しました。来年は今年以上に皆さんを驚かせる合唱を創り上げようね♫

## ≪生徒感想より≫

練習では、パートに別れて少ない人数で練習を行っていた。自分の声がよく聞こえる分恥ずかしく、始めのうちはあまり声が出せなかった。でも、このままではダメだと思い、そこからはしっかりと声を出すようにした。それが本番にもつながり、大きな声で歌い上げることができた。来年も努力し、最優秀賞を取りたいです！！

私が一番頑張ったことは大きな声を出すことです。私はソプラノパートだったのですが、男声パートの声のボリュームが凄くて、つられそうになることがよくありました。でも、自分で今できることを全力でやろうと思い、指揮者の方を見ながら大きな声で歌いました。最優秀賞には届かなかったけど、とても満足して終わることができました。

みんなで協力して物事をやりきることはとても楽しいと、今回の文化祭で学びました。これからも、もっといろんなことをみんなで協力して頑張ろうと思いました。

最初はぐだぐだで「どうなるやろ？」と心配していたけど、みんなが心を１つにして一生懸命頑張ることができたのが良かった。１人だけではなく、みんなで頑張ろうと思えたのが良かった。思いやりのあるクラスだから、この部分をもっと伸ばして、来年は必ず最優秀賞を取りたいと思いました！